

















SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

（様式第3号）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	ダイバーシティ・マネジメントに基づく採用制度を実地。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	【予定】今後セクハラ等の禁止を就業規則に規定する。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・経営者が社員の就業管理を行い、残業時間が多い場合などは注意喚起を実施している。									8.5 8.8								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現時点では外国人労働者はいないが、当然人種・国籍等の差別を禁止している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	災害事例等の水平展開。 ヤリ・ハット情報の収集・把握および気がかり報告。										8							
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	風通しの良い職場環境構築。																	
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	障がい者雇用率以上の障がい者を雇用している。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	事業運営上で必要となる資格更新管理を行っている。					4	5.5			8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	各法令内容を理解して同一労働同一賃金に沿っている。						5.5			8.5		10.2 10.3						
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	基本、土曜日、日曜日および祝日を休日とし、暦に従った大型連休を設定して、社員の心身の健康に努めている。 社員同士、お互いの目視による健康状態把握のため声かけ確認を行っている。											8						
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	産業廃棄物処理業者は、優良認定業者に限定かつ選定している。											11.6	12.4		14.1			
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	【予定】SCOP1. 2のエネルギー使用料、温室効果ガスの排出量を把握する。 社員一人一人に環境意識への向上を促している。									7.3					13			
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】算定ツールなどを利用して、SCOP1. 2のエネルギー使用料、温室効果ガスの排出量を把握し、削減の改革を行っていく。 社員一人一人に環境意識への向上を促している。									7.2 7.3			12.4		13.3			
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【予定】有害化学物質の使用を防止／低減すべく、取引先にも順守の要請を行っていく。							3.9		6.3			11.6	12.4				
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	汚染の原因ともなるプラスチックゴミの削減を目標に掲げている。									6.6						15		
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	廃棄物の分別回収の徹底。 紙の削減、封筒の再利用の推進。													12.5		14.1		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水利用状況を把握し、使用量削減に努めている。									6.4 6.6									

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】二酸化炭素排出量の現状把握を行っていく。			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】自社ホームページで開示できるように現状把握と削減の数値化を行っていく。											12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】太陽光を使用した発電キット、外灯などを積極的に導入していく。							7.2					13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】認証製品の利用、販売推進。											12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】倫理綱領の策定をし、社員に周知し徹底する。																16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】倫理綱領の策定をし、社員に周知し徹底する。																	16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】保護が必要な特許及び商標は知的財産権を取得し管理する。									8.2	8.3	9							
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	【予定】個人情報保護規程を策定をし、社員に周知し徹底する。																		16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	材料の仕入れ先企業から情報提供を受けている。																		16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】企業倫理はもとより、ステークホルダーに対して誠実・公正な対応をとることを行動指針に定める。					5				8		10	12	13	14	15	16	17	
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	業務に関する各種保険の加入および緊急時に備え緊急連絡網を構築している。			3.9								12.4							
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	【予定】行動指針を策定し、さらにお客様の声を把握し、要望・苦情に対して業務改善の推進に努める。															9			
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	アセテートおよび人工大理石を使用した製品開発を行っている。						6					12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	次世代材料を使用した製品、新規加工技術の開発、に積極的に取り組み、社会課題を解決する製品の製造に努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																											
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	納税、雇用創出による地域への貢献を主として、事業活動を行っている。				4								9		11	12		14	15		17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	市内行事への寄付、参加。 羽協同募金に協力。				4											11				14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	【予定】地域の原材料の優先的利用を促進する。													8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営者が適時、経営理念・行動指針・経営目標を社員に説明し共有している。													8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	【予定】倫理綱領に基づいて構築し、経営者が適時法令順守（コンプライアンス）の重要性を社員に向けて発信する。																						16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】担当者を任命して管理していく。																							16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	お客様のご意見、ご要望を把握し、お客様との接点機会を積極的に設けて業務改善に努めている。																						16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	【予定】緊急連絡網を整備。																							16
40		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】行動指針に社会的道徳や法令遵守を明記し、地域活動に積極的に参加していく。																							16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事業継続計画(BCP)の策定を行う。																9		11			13 13.1		16
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	人材育成、発掘に努めている。														8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）